

要請番号 (JL55123Ac2)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ザンビア	G202 電子工学		個別	新規	2年	・2023/4・2024/1・ 2024/2・2024/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育省

2) 配属機関名 (日本語)

ザンビア大学工学部電気電子工学科

3) 任地 (ルサカ州ルサカ市) JICA事務所の所在地 (ルサカ州ルサカ市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (徒歩 で 約 0.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

ザンビア大学は、農業科学、工学、教育学、人文社会学、法学、鉱業学、医学、自然科学、獣医学など12学部からなる総合大学で国内最高の学府でありある。工学部は1969年に開設され、農業工学、土木・環境学、電気電子工学、機械工学および地理情報工学の5学科を有し、5年の履修課程を修了すると工学学士の学位を授与される。電気・電子工学科は工学部の中でも人気が高く、2年進級時には毎年60名程度の学生が同学科を選択する。なお、4年進級時には電気機械・電力工学あるいは電子通信工学のいずれかの専攻過程を選択する。授業数は、4年次で週に4コマの講義、実験実習8コマ、5年次では講義4コマ、実験実習5コマとなっている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

大学の方針と戦略において、教育研究能力を国際標準まで高めることが求められていることから、近年、電気・電子工学科でも教育基盤や人材の見直しなど、学科全体の刷新を行っている。無線・電気通信及びコンピュータ通信の大学院(修士、博士)課程の開設に伴い教員数は増員されたものの、電子・電気通信工学分野で高い知識を有する人材は不足しており、教育、研究能力の向上を目指してJICA海外協力隊員が要請された。2003年から2012年の間に4名のシニア海外ボランティア(当時)が派遣され、講義だけでなく学生への論文指導も行なった。卒業生の主な就職先は、政府系機関、鉱山業、製造業などである。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

配属先同僚とともに、以下の活動を行なう。

- 新しい電子工学プログラムにおける電子・電気通信工学カリキュラムの評価
- 電子工学や電気通信工学に関する講義、実験・実習の指導の支援
- 教育教材や実験実習内容の提案・開発

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

シグナルジェネレーター(Feedback, FG600)、オシロスコープ(Philips, PM3311, PM3208/00 0-60Hz)、ワットメーター(Feedback, EW604)など

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:

・講師 20名(学士、修士または博士取得者、30-50代)、技術職員 13名(有資格者、専門士、あるいは学士取得者、30-50代)、秘書 1名(有資格者、40代)

活動対象者:
・学部生(主に4、5年生)及び大学院生

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

英語(レベル:A)

【資格条件等】

[免許]： ()

[性別]： () 備考：

[参考情報]：

- ・教員免許や教員経験があると望ましい

[学歴]：(修士) 電気・電子 備考：大学院生の指導も行なうため

[経験]：(指導経験) 5年以上 備考：学生に対して指導を行なうため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(サバナ気候) 気温：(5～35°C位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(安定)

【特記事項】

赴任後、現地語学訓練(ニャンジャ語)を行う予定である。